

# 食品ロス削減に向けた 経産省の取組

経済産業省  
商務・サービスグループ  
消費・流通政策課

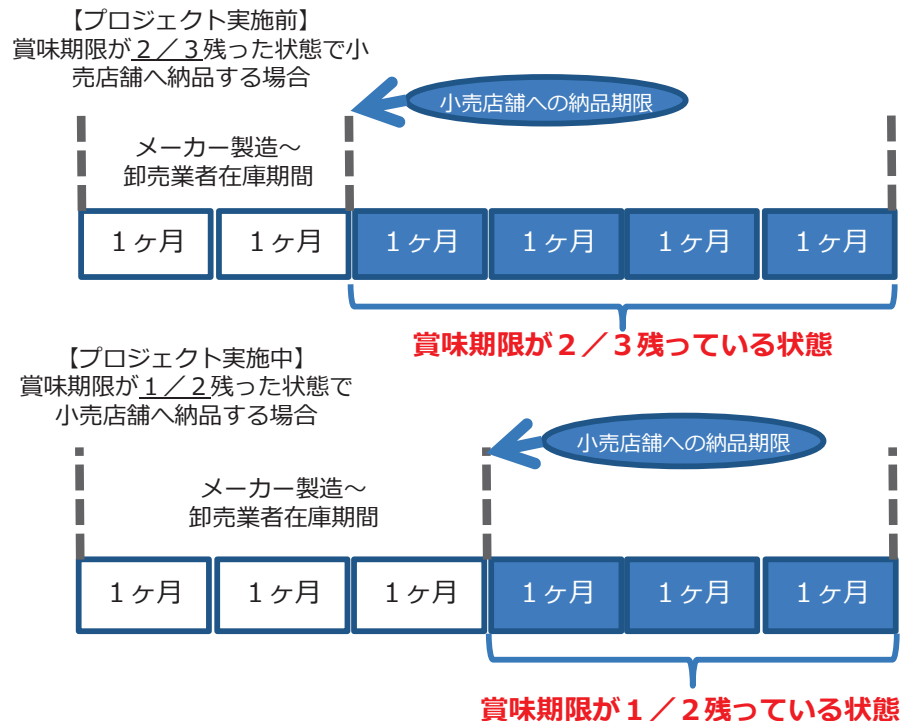
# 食品ロス削減に向けた取組① 商慣習の見直し

- 経産省が設立を主導し、製造・卸・小売の大手企業が加盟する「製・配・販連携協議会」において、サプライチェーンの効率化を進めるため、調査や実証、普及啓発、表彰等の活動を実施。
- 返品削減・食品ロス削減については、製造における**賞味期限の年月表示化、ロングライフ化、小売における納品期限の見直しを三位一体の取組**として関係省庁とも連携しながら推進。

⇒返品削減の「手引書」を策定し、返品率の改善など一定の成果。 ※下記、協議会会員社向けアンケート  
 (加工食品分野：卸⇒メーカー：0.81% (2013年度) ⇒0.39% (2020年度) )  
 (日用品分野：卸⇒メーカー：3.01% (2013年度) ⇒1.93% (2020年度) )

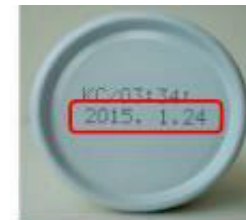
## 【納品期限見直しのイメージ図】

※賞味期限が製造から6ヶ月の商品の場合



## 【賞味期限の年月表示化】

<現状>



「年月日」ごとに個別管理



<見直し後>



「年月」単位で一括管理



**保管・配送・入出荷の作業を効率化**

➡ 今後は特に地方スーパー、食品取扱の多いDRUG業態へ拡大、推進。

# 食品ロス削減に向けた取組②テクノロジーを活用した実証事業

- 令和3年度「流通・物流の効率化・付加価値創出に係る基盤構築事業」にて、イトーヨーカドー曳舟店をフィールドとして、RFID等のテクノロジーを活用した食品ロス削減に資する実証事業を実施。

## 実証実験①



### 青果物の新たな価値を訴求する販促による食品ロス削減

青果物が持つ様々な情報のうち、これまであまり利用されてこなかった情報を活用した新たな価値を消費者に提供する販促を店頭で実施し、食品ロス削減への効果を検証する。

## イメージ

＜産地からの情報提供による販促イメージ＞



流通ニュース : <https://www.ryutsuu.biz/it/o0111113.html>

## 実証実験②

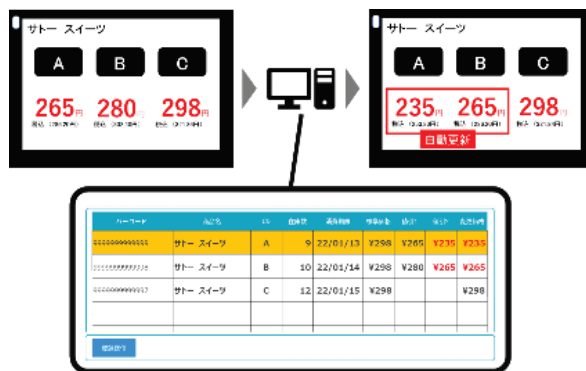


### ダイナミックプライシングを活用した売り切り促進による食品ロス削減

電子棚札を活用したダイナミックプライシングを導入することによる、店舗における業務効率化と食品ロス削減への効果を検証する。

## イメージ

＜ダイナミックプライシングのイメージ＞



## 実証実験③



### 「健康」を価値とした食品の購入・調理・保管の支援による食品ロス削減

購買データや消費・廃棄データを「健康」という切り口で活用しながら、食品の購入・調理・保管を支援する消費者サービスとして提供し、家庭内での食品ロス削減への効果を検証する。

## イメージ

＜アプリのイメージ＞



現在の栄養状況

在庫や栄養状況からレコメンド

家庭内の在庫可視化